



2023年～2024年度 クラブ活動の基本方針

会長 山本 禎昭

一步踏み出し、本気でいこう！つなげよう！

1954年1月15日この地に上野ロータリークラブが誕生し、本年、70周年の記念の年を迎える事になりました。この節目の年に会長をお引き受けする事になり、この上なく光栄に感じますと同時に事の重大さに身の引き締まる気持ちでいっぱいであります。

本年、RI会長のテーマは「世界に希望を生み出そう“CREATE HOPE in the WORLD”」であり、又、篠原ガバナーの地方方針は「奉仕の心を未来へつなげよう」であります。世界が希望を取り戻すために奉仕の心を常に持ち、未来のために奉仕の心をつなげていく事が大切。と述べられています。これらを念頭に活動して行きたいと思えます。

さて、本年の会長方針を“一步踏み出し、本気でいこう！つなげよう！”とさせていただきます。少し説明を加えますと、全般として新型コロナの影響で多くの継続事業を含め中断を余儀なくされました。事業の再開に当たりただ3年の空白が終わったと言うだけでなく、良い機会と捉え再度、目的、やり方、対象者等根っこの所を見直してから事業展開をお願いします。

～一步踏み出し～

ロータリーメンバーは、その高い能力を発揮し各事業を進め、実行していきます。その能力の高さゆえ、周りの方々にあまり負担をかける事なく事業を終えていく事も多くあります。同様の事業でも皆が一步踏み出して議論し、実行すればより素晴らしい結果を得ることが出来る事でしょう。

～本気でいこう～

これも積極的に物事にあたっていただきたいと言う意味も大いにありますが、その中でも特に長年言い続けられている会員増強について本気で取り組んでいきたいと思えます。誰かが何とかしてくれるだろうと皆が思えばどうなるでしょう。それぞれの業界を代表する皆様で、色んな人脈ネットワークを持たれている方々ですので本気になれば強力な増強が図れると思えます。

～つなげよう～

本年は70周年。節目の年に当たります。この周年の意味など、この時に考えておかねばならない事があります。まず過去の歴史を振り返り各時代の先輩方の思いや目指した事を見つめ直し、過去から今までの重点事項や方向性を理解する必要があります。そしてこれからの5年、10年先に向かって行くべきベクトルを設定する事が会として大変重要な仕事

になると思います。

又、新型コロナ発症から4年目の今、時代のニューノーマルに対応できる体質の強化や柔軟性を持って、想定外の出来事が多発する今後についても今の経験を生かし、次世代のために色んな”準備”が必要だと考えます。

自分の子、孫含め次世代の人、地域のためにどれだけ立派な「肥やし」になれるかが自分自身のテーマでもあります。

今年1年、実り多き年となりますよう皆様ご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆重点事項

- ・例会の充実（例会の出席率は会長への支持率だそうです。R5. 3. 26 PETSにて）
- ・会員増強
- ・ニューノーマルに対応した行動
- ・70周年事業の充実
- ・インターアクト年次大会の支援